

東京海洋大学 知的財産本部

東京海洋大学は「海の相談室」

知的財産本部の 趣旨

東京海洋大学知的財産本部は、平成15年10月、東京水産大学と東京商船大学との統合によって誕生した東京海洋大学の創立とともに設置されました。東京海洋大学の創立を念頭に、統合前より設置準備が進められ、この構想をもとに平成15年7月15日には、全国の国公私立大学、国立研究機関などから、文部科学省の「大学知的財産本部整備事業」の支援対象34校の1校に選定されました。これによって東京海洋大学知的財産本部について、運営費、外部人材の確保、事業費などに国の助成を受けられることとなりました。

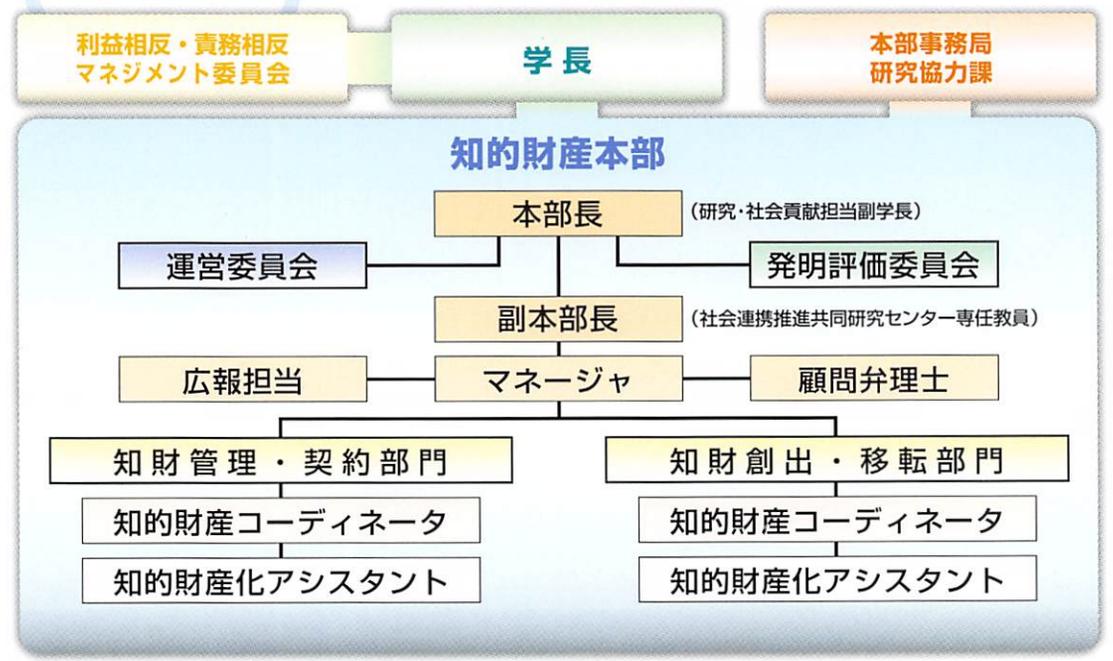
東京海洋大学知的財産本部は、大学教員の発明の特許化など知的財産の取得や関連産業界への技術移転などによる大学の知的資産の有効活用を進めます。これによって、産学連携を更に活発化させ、水産、食品、環境、流通情報、海事関連産業界や地方水産地域の活性化につなげようというものです。

「大学知的財産本部整備事業」に係る文部科学省の選定ポイントでは、東京海洋大学知的財産本部構想について、以下のようなコメントが発表されました。

「規模は大きくないが、構想は実践的である。統合により海洋系専門大学になるので、連携の相手先がかなり明確であるというメリットもある。水産・食品分野全体として全国的なネットワーク作り、またその拠点としての位置づけを得ることが期待される。」

教員数260名の小規模大学が、向こう5年間にわたる助成対象に選定されたことは、食の安全や海洋環境保全、水産資源確保と言った国民生活に直結する問題にかけられる期待の大きさと考えます。文部科学省のコメントにもあるように、今後は、他大学水産・食品・海洋環境系の学部・学科・研究機関とのネットワークを形成し、水産資源の確保と海洋環境の保全、食の安全を求めて、関連産業界の活性化にいっそう貢献する所存です。

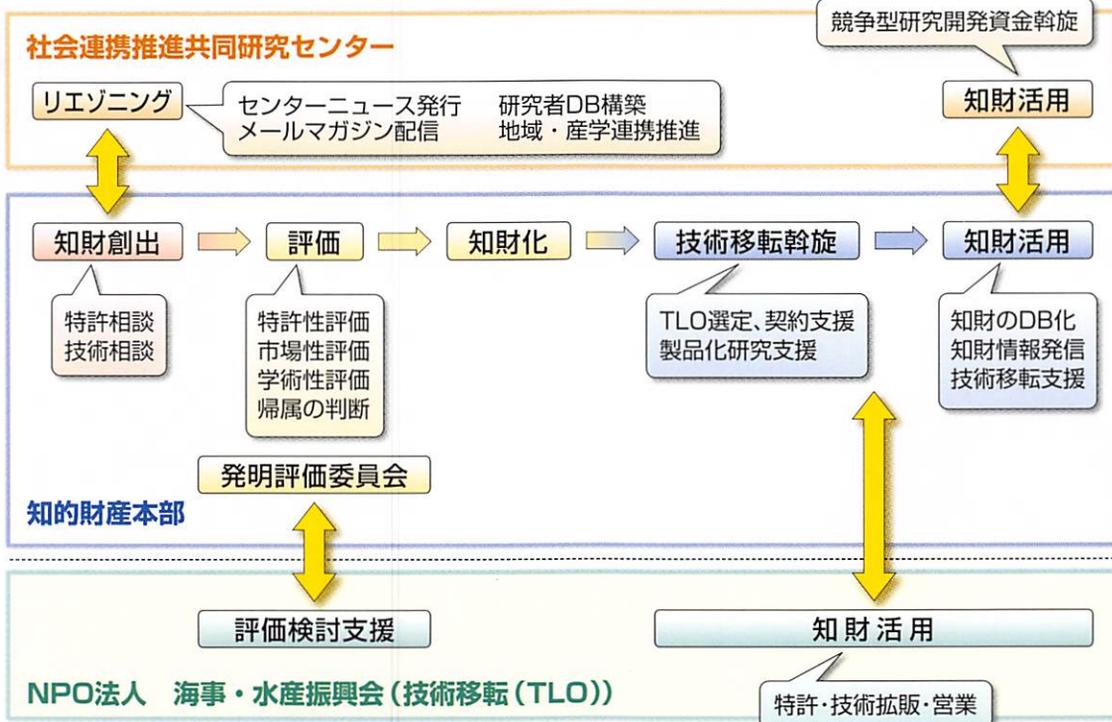
知的財産本部の 概要



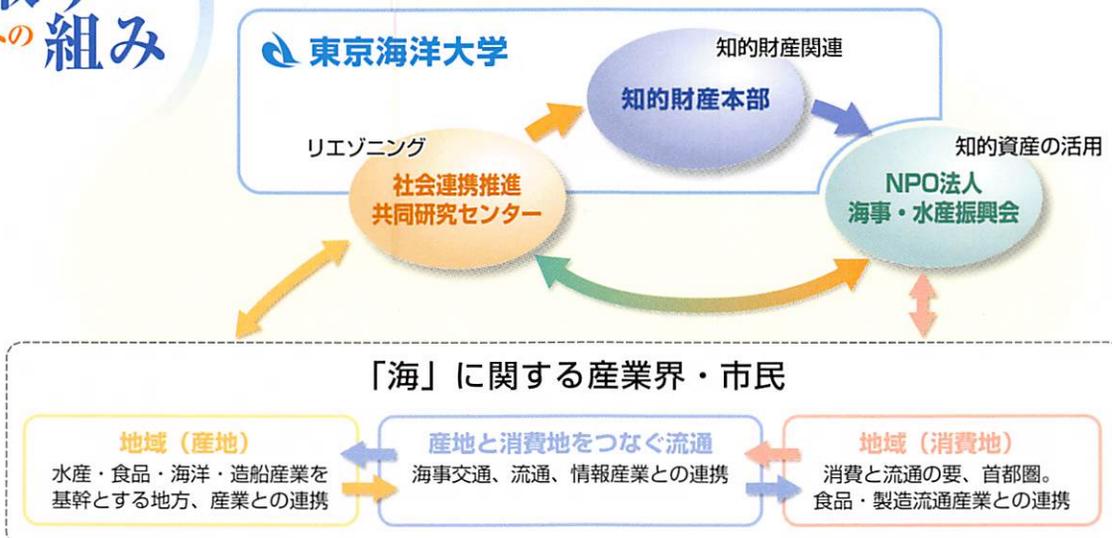
業務と知財の流れ

<主な業務> 社会連携推進共同研究センターと、TLO機能を持つNPO法人 海事・水産振興会と連携して下記を行います。

1. 研究成果の特許化相談
2. 知財戦略策定、知財創出、管理、運用の企画立案、推進
3. 発明の市場性評価、市場性向上のための検討、想定移転先の開拓
4. 発明の特許性評価、特許性向上のための検討
5. 知財創出のための教育・啓蒙活動
6. 知財創出のための研究者ヒアリング、知財データベース作成
7. 特許をベースにした外部資金導入検討



社会貢献への取り組み





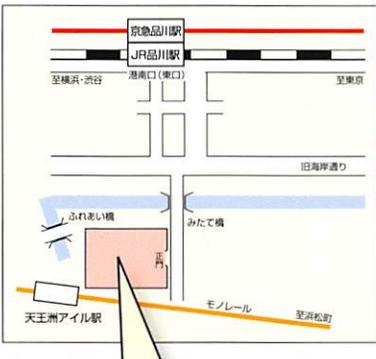
東京海洋大学

品川キャンパス

- JR線・京浜急行線
品川駅から徒歩約15分
- モノレール天王洲アイランド駅から
「ふれあい橋」を渡り正門まで約15分
- りんかい線天王洲アイランド駅から
「ふれあい橋」を渡り正門まで約20分

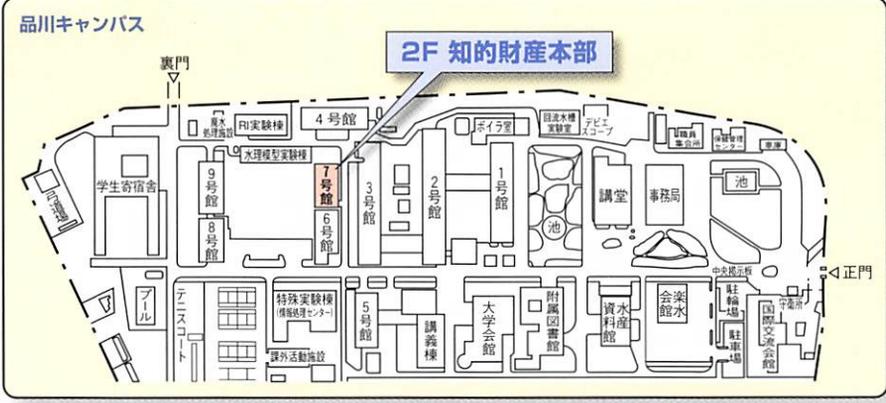
越中島キャンパス

- JR京葉線 越中島駅
(各駅停車のみ) から徒歩約2分
- 地下鉄東西線・大江戸線
門前仲町駅から徒歩約10分
- 地下鉄有楽町線・大江戸線
月島駅から徒歩約10分



知的財産本部

〒108-8477
 東京都港区港南4-5-7
 東京海洋大学・品川キャンパス
 社会連携推進共同研究センター (7号館2階)
 TEL : 03-5463-0859
 FAX : 03-5463-0894
 E-mail : chizaijm@s.kaiyodai.ac.jp



越中島ランチ

〒135-8533
 東京都江東区越中島2-1-6
 東京海洋大学・越中島キャンパス
 海事交通共同研究センター2階
 TEL : 03-5245-7501
 FAX : 03-5245-7506
 E-mail : sangaku@e.kaiyodai.ac.jp